



みちのえきよってにしとさ(かぶしきがいしゃ にしとさふるさといち)

道の駅よって西土佐(株式会社 西土佐ふるさと市)

～希少な四万十川天然鮎の価値を未来に！～



日本で唯一鮎市場のある道の駅



イタリアのスターワイナリーと協定を結ぶ

経緯

- 最後の清流と呼ばれる四万十川。そこで取れる天然鮎は、美しい四万十の自然の象徴。
- しかし、漁師の減少、鮎の減少等、四万十川・天然鮎を取り巻く課題は年々深刻化。
- 環境と経済の両面から天然鮎と四万十川の価値を更に高めることで未来の世代に繋げる活動を2016年から開始。

取組内容

- 新たな名物として、地域の食文化を尊重しつつ「洋」を取り入れた、四万十天然鮎を使った「鮎のコンフィ」を開発。
- 生きた鮎を築地市場へ運ぶための品質管理、流通技術・管理を開発。現在天然活魚を豊洲市場に送っているのは四万十川のみ。
- 上流から下流まで「全漁協による四万十鮎ブランドプロジェクトチーム」発足。

活動の効果

- 活動を通じて鮎の価値を再認識。事業体を超えて関係者が一丸となり、鮎以外の地場産品の価値を再発見する取組に進展
- 天然うなぎでワインを楽しむイタリアのコマッキオとフレンドシップ提携を締結。また、鮎のコンフィに合うワインの産地であるフランスにもアプローチする中で、四万十川の価値復活に賛同してくれる外部の仲間と、川の価値、鮎の価値の向上、若手の未来開拓に挑戦する流れが生み出されている。

応募団体からのアピール・メッセージ

四万十の鮎も世界のワインも、同じ「世界のローカル」の魅力であり味わい。自然とそこに住まう人の協働の産物が世界の色々なところでまた重なり、進化をしていければと考えています。